

## 第2学年1組

## 体育科学習指導案

日 時 13年 6月18日 (火)

場 所 伊曾島小学校 体育館

授業者 諏訪 豪

### 1. 単元名

「タグラグビー」(ゴール型ボールゲーム)

### 2. 単元の目標

- (1) ルールを守り、勝敗に対する正しい態度をとって、レフリーや仲間とともにゲームを楽しむことができる。(関心・意欲・態度)
- (2) パスやランを使った攻めやタグを取る守りの技能を身につけ、ゲームができる。(技能)
- (3) チーム全体でゲームの成果や課題を振り返り、自分のチームの特徴を生かした作戦を考えることができる。(思考・判断)

### 3. 単元について

タグラグビーは、1990年代はじめにイングランドで競技として考案されたスポーツである。タグ(tag)とは「札」という意味だけでなく「鬼ごっこ」という意味もあるので、遊びの中で体験する鬼ごっこの感覚で始められるスポーツとも言える。「タグラグビー」というと当然ラグビーのイメージがあり、人と人がぶつかり合う危険なスポーツだと思われがちだが、大きく違う点は接触プレーが無い安全重視のスポーツという点であり、タグラグビーではタックルや接触プレーが禁止されているので男女年齢を問わず楽しめるニュースポーツである。

ボールを持って走る、タグを取りに行く、攻守問わず動けるスポーツで運動量も豊富であり、前に走りながらボールは真横か後ろにしかパスをできないという、既習経験のない動作は、体育の時間を苦手としていた児童が体育を好きになる、ボールゲームを好きになる、スポーツを好きになる、という期待がもてる運動であるとも言える。また、チームで協力して話し合いをしたり、作戦を立てたりなどして役割分担を明確にできればコミュニケーションづくりのうえでも楽しい運動である。

☆新学習指導要領におけるゲーム・ボール運動のカリキュラム

(低)	(中)	(高)
鬼遊び→→→	ゴール型(タグラグビー)→	ゴール型(タグラグビー)
ボールゲーム	ネット型	ネット型
	ベースボール型	ベースボール型

タグラグビー(陣取りゴール型ゲーム)が持つ教材としてのよさ

○低学年「鬼遊び」、中学年「ゲーム」、高学年の「ボール運動」の連続性を生む。

○どの子ども「今できる力でゲームを楽しむ」という学習を導きやすい

ボールを抱えて走ることは、どの子どもにもできる。→得点場面に参加しやすい

○多くの子どもにとって未習種目であり話し合った作戦を活かしやすい。

## 児童について

本学級の児童は、20名で素直で元気な児童が多い。全てのことに真面目に取り組むことができるが、やや教師に依存的な傾向があり、指示されたことには取り組むが、自分でよりよい方法を考え出し取り組んでいくような自主的・主体的な行動に弱さが見られる。また、休み時間や昼休みの遊びなどは、現代の子どもたちの象徴のように運動の二極化傾向になっている。運動量の多い子は、体育の学習だけでなく、放課後遊びやスポーツ少年団の活動も行い技能を伸ばし、体力を高めている。その一方で、室内遊びが好きな児童も増え、全体的に見ると、日々の運動量が少なくなっている現状である。

事前に、行ったアンケート結果を記載する。

### ①. 体育の運動は好きですか

好き 18人	普通 2人	嫌い 0人
色んな種目があるから2 出来ないことが出来るようになるから2 みんなでやって楽しいから2 体を動かすのが好きだから10 体を鍛えられるから 勝負事が好きだから	好きな種目と嫌いな種目があるから どっちでもないから	

### ②. タグラグビーは好きですか

好き 15人 (複数回答)	普通 15人 (複数回答)	嫌い 5人
ルールが多いけど楽しい3 自分の役割があるから2 パスをするのが楽しい2 友だちと会話しながらチームワークを築けるから2 危険じゃないから なんとなく2 みんなで盛り上がるから タグを取れるから2 空欄	ボールが回ってこない3 ボールに触れたり触れない時があるから サッカーより好き あまりよくわからない2 他の人が動いてくれない ボール系は好きじゃないけど勝負事は好き	ルールが多くて怪我をしやすい ボールが回ってこない3 空欄

### ③. タグラグビーで楽しいことや、うれしいことはどんなことですか

2で好きと答えた児童	2で普通と答えた児童	2で嫌いと答えた児童
ボールの回ってくる ボールが回ってくると嬉しい タグを取れるから3	自分がボールにさわられてチームが勝ったとき2 点を取れたら嬉しい3	

トライが取れる5 勝ったとき4 どんどん試合したい 失敗してもみんなが嫌なこと は言わないから ハイタッチするから 走ることができるから 空欄2	ボールに触れたり触れない時が あるから タグが取れるとき ルールがわからない	
---	---	--

④. タグラグビーで嫌なことや、心配なことはどんなことですか

2で好きと答えた児童	2で普通と答えた児童	2で嫌いと答えた児童
怪我をしないかどうか3 空欄2	ルールが難しい3 みんなでボールを取り合ってる とき入りにくい 運動ができる子が目立つし ミスしたり足手まといになると 心配だから2 ボールが当たると痛い ボールが回ってこない 他の人が動いてくれない	たくさんある 転んでしまう

4. 指導について

児童は、体育授業で初めて楕円球に触れたりシッポ取りを経験するが、基本的に鬼ごっこの延長であることをスタートにすることで、こちらが考えている以上に取り組みスタートをできる。バスケットのように前に居る仲間にパスをしたり、走力を頼りに一人で走ったりワンマンプレーが多いため、自分だけではなく周りの仲間へも目を向けられるように指導をすすめていきたい。

まず、運動量を確保するため細かいルールにとらわれず、ゲームの回数を増やした後、タグラグビーを思い出させ、少しずつルールの難易を上げていく。

ゲームの楽しさを深めるためには、基本技能の向上は不可欠であるため、毎時間ドリルゲームとして取り入れていく。また、全員でパスをつないで前進して攻撃したり、タグを取りに行くことで守備をしたりするゲームであるため、ルールを理解すれば振り返りも深まると考えビデオ教材を利用し、視覚的にも子どもらの理解度を高めたい。そして、ゲームではチームのめあてから自分のめあてを考え、その達成のための作戦や練習方法を自分たちで考えられるように支援することを通して今後の指導に役立てていきたい。

5. 指導計画 (全8時間 本時5/8)

学習活動	指導上の留意点	時数
<p>1 学習のねらいと道筋を理解し、学習の進め方について見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タグラグビーの精神を確認する。</li> <li>・からだほぐしの準備運動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タグ取りや簡単なルールを知る。</li> <li>○今後のめあてを知る。</li> </ul>	1
<p>2 自分やチームのめあてにそって活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タグラグビーのルールを知る。</li> <li>・ボールを使ってミニゲームをする。</li> <li>・パスの練習をする。</li> <li>・ルールを理解する。</li> </ul> <p><u>ねらい1</u> <u>ボールに親しみタグラグビールールを理解しよう。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楕円球のラグビーボールを使い、一人ひとりが楽しめるような場の雰囲気心がける。</li> <li>○ボールの持ち方やパスの仕方など、基本的なことを具体的に指導する。</li> <li>○ボールを大切にすることや仲間を大切にしていくことなど; 心の面についても話をする。</li> <li>○ビデオ教材を見て、ルールを深める。</li> </ul>	2 ・ 3
<p>3 ルールを確認しながら、色々なチームでゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム開始前に出場していない者とペアを組みトライ数やボール接触数を数える。</li> <li>・ゲーム後、相手やレフリーと握手をして感謝の気持ちを表す。</li> </ul> <p><u>ねらい2</u> <u>ルールを正しく理解して、チームや自分の課題を見つけゲームを楽しもう。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出場していない者とペアを組ませる。</li> <li>○最初は教師がレフリーをしてルールを確認させながらゲームを行う。</li> <li>○ゲームの途中でも随時ルール説明を行うようにする。</li> </ul>	4 ・ 5
<p>4 チームを固定し、攻撃・守備の練習方法を工夫してゲームに挑む。</p> <p>子どもたち自身でレフリーをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームメイトと観戦をして、作戦や目標を話し合う。</li> </ul> <p><u>ねらい3</u> <u>チームの良いところを生かし作戦を考えゲームを楽しもう。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれのチームに合った攻め方・守り方の練習になっているのかを観察し必要に応じて助言する。</li> <li>○ゲームをしていないチームは練習をしたり、レフリーの動きを覚えたり、次の課題を与える。</li> <li>○レフリーをする児童には自信をもってゲームを演出できるよう助言する。</li> </ul>	6 ・ 7
<p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を活かすことができるパスや活かされるために声や計画ができたかを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームで話し合いをさせ、単元のまとめと今後の活かし方を考えさせる。</li> </ul>	8

6. 本時の指導について

(1) 目標

- ・チームに適した課題を持って練習やゲームを進んで取り組むことができる。  
(関心・意欲・態度)
- ・自分のチームの特徴を生かし、攻守の作戦を考えることができる。(思考・判断)
- ・ゲームを通し、全力で走ったり、パスをしたり仲間を生かし合いながら、ゲームを進めることができる。(技能)

(2) 準備物

タグボール、タグベルトセット、マーカー、三角コーン、

指導過程(45分)

時間	学 習 活 動	指導の留意点
導入	<p>本時の流れやチームのめあてを確認する。</p> <p>タグの準備やコートでの準備をする。</p> <p>体ほぐしの準備運動をする。</p>	<p>○クラスを4チームに分け体育館全体でゲームをする。</p> <p>○本時では、ゲームを楽しむことに加え仲間のために役割を果たすといった面にも気づかせる。</p> <p>○チームでボールを使って練習を行う。</p>
展開	<p>ゲームをする。</p> <p>1 試合目 (5分)</p> <p>作戦タイムで試合を振り返り工夫した練習をする。</p> <p>2 試合目 (5分)</p> <p>作戦タイムで試合を振り返る。 多くの試合を経験する。</p>	<p>○試合のないチームは見学、もう1チームは見学と安全確保のガード役になる。</p> <p>○試合中でも随時ルールの確認を行う。</p> <p>○ゲームを振り返らせチームに合った作戦や工夫が出来るように助言する。</p> <p>○試合中でも随時ルールの確認を行う。</p>
まとめ	<p>学習の振り返り</p> <p>整理体操</p>	<p>○めあてが達成できたかどうか、今日の試合を思い出させ、ボールを触ってなくても声やレフリングを積極的に進めた児童を挙げて評価する。</p>